

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 コミュニティ助成事業補助金
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	1	協働のまちづくりの推進
施策	2	まちづくり活動の推進
小分類	1	多彩なまちづくり活動の支援
主要な施策	2	コミュニティ活動の支援
事務事業番号	003	事務事業コード 61212003 事業開始年度 平成 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	コミュニティ助成事業補助金
------	------	------------	---------------

部 名	総務部	グループ名	政策推進室企画 G
-----	-----	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p>(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください)</p> <p>コミュニティ組織（自治会、町内会等）、コミュニティ組織の連合体、自主防災組織等</p>
手段（事業の内容・活動）	<p>(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください)</p> <p>財団法人自治総合センターが宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、コミュニティ活動に助成を行う事業である。 申請は市町村・都道府県経由で行われ、補助金は市町村経由でコミュニティ組織へ交付される。</p> <p>【助成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般コミュニティ助成事業 ・自主防災組織育成助成事業 ・青少年健全育成助成事業 ・緑化推進コミュニティ助成事業 ・コミュニティセンター助成事業 <p>【平成 2 1 年度助成対象団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし
目指す姿（成果）	<p>(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください)</p> <p>コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行う。</p>
根拠法令等	<p>(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)</p> <p>財団法人自治総合センターコミュニティ助成事業実施要綱</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	助成件数	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 自治総合センターコミュニティ助成金	千円	0	0	2,500	2,500	2,500	7,500
	一般財源	名称	千円						0
合 計				0	0	2,500	2,500	2,500	7,500
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	50	52			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		50	52			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本事業は財団法人自治総合センターが実施している事業であるが、実施要綱の規定により助成申請手続き及び助成金の交付は市経由で行われることから、市が事業主体となる必要がある。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 本事業により、助成対象団体は地域のコミュニティ活動に必要な用具等の整備を行うことができるため。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ コミュニティ助成事業制度の周知を図ることにより、コミュニティ団体の制度活用が広がり、その成果の向上は見込めると考える。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 財団法人自治総合センターが宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として助成が行われていることから、市の事業コストの削減には繋がらない。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成21年度は団体等からの申請がないが、本事業は、地域住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識の向上に資することから、今後も継続する必要がある。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）